

講座の目的：統計学の基礎や統計データの見方等、統計データ分析の基本的な知識を学習し、身近なデータの活用に役立てる

開講期間：令和6年6月11日（火）～8月6日（火）予定

学習時間：1回10分程度×6～9回程度（1週間）×4週

課題：各週の確認テストと最終課題の実施

講師：安宅和人氏（慶應義塾大学環境情報学部教授）ほか



週	各週のテーマ	内容
1	統計データの活用	統計データを用いた分析事例を知り、統計リテラシーを学ぶ (大人がデータサイエンスを学ぶべき理由、統計データからわかること、統計リテラシーの重要性等)
2	統計学の基礎	データ分析に必要な統計学の基礎を学ぶ (データの種類、代表値、分散・標準偏差、相関係数、回帰分析、標本分布等)
3	データの見方と表し方	データの見方と適切なグラフの選び方を学ぶ (比率の見方、時系列データの見方、グラフを作る時・読む時の注意点等)
4	公的データの使い方	誰もが使える公的統計データの取得方法と使い方を学ぶ (公的データの入手方法、e-Stat ^{※1} やjSTAT MAP ^{※2} の使い方、本講座のまとめ等)

※1 政府統計の総合窓口

※2 総務省統計局及び独立行政法人統計センターが運用する、各種統計データを地図上に表示し、視覚的に統計データを把握できる地理情報システム

▶ 講座の流れ

講義動画



確認テスト及び最終課題



修了証の発行

講師による説明動画でデータサイエンスを分かりやすく解説

各週の確認テストにより理解度を確認、最終課題により習熟度を確認

確認テスト及び最終課題の得点率により修了証を取得

▶ これまでに開講したデータサイエンス・オンライン講座

<p>「社会人のためのデータサイエンス入門」</p> <p>(講座の特徴) 統計データ分析の基本的な知識を学べる入門編講座</p> <p>(開講時期) 初回開講：平成27年3月 直近の開講：令和5年6月 開講回数：19回 ※特別開講含む</p> <p>(学習時間) 1回10分程度×6～9回程度 (1週間)×4週</p> <p>(実績) 社会人を中心に延べ 約192,000人が受講</p>	<p>「社会人のためのデータサイエンス演習」</p> <p>(講座の特徴) 「社会人のためのデータサイエンス入門」を踏まえ、より実践的な内容へ</p> <p>(開講時期) 初回開講：平成28年4月 直近の開講：令和5年10月 開講回数：13回 ※特別開講含む</p> <p>(学習時間) 1回10分程度×5～7回程度 (1週間)×5週</p> <p>(実績) 社会人を中心に延べ 約87,000人が受講</p>	<p>「誰でも使える統計オープンデータ」</p> <p>(講座の特徴) e-Stat（政府統計の総合窓口）等を使い、統計オープンデータの活用方法を学ぶ</p> <p>(開講時期) 初回開講：平成29年6月 直近の開講：令和6年1月 開講回数：11回 ※特別開講含む</p> <p>(学習時間) 1回10分程度×5～7回程度 (1週間)×4週</p> <p>(実績) 社会人を中心に延べ 約52,000人が受講</p>
--	--	---

※特別開講：参考として動画の閲覧のみ可能な講座